TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である　祈りの力
ヤコブの手紙 5:13-15

2023年2月25日&26日
余沢　武　牧師

I. 初めに

こんにちは。ヤコブの手紙では、神が私たちに唇を与えたのは批判や自慢をしたり、不満を言ったり、他人を欺くためではなく、真実を語り、他者にとっての祝福となるためだと先週学びました。今日はそれをどのようにして行ったらいいのかにフォーカスしたいと思います。まず祈りましょう。

II. 祈りの力

(1)苦しみ？

ヤコブの手紙 5:13 を開きましょう。そこにはこうあります。「あなたがたの中に苦しんでいる人があれば、祈りなさい。喜んでいる人があれば、賛美の歌を歌いなさい。」

私たちが苦しむとき、祈るべきだとヤコブは言います。全ての物事を支配する力のある方のもとに行くべきだということです。

数年前のある朝、私たちは早朝 4 時に階下の住人に起こされました。彼らの天井から水が漏れており、おそらく私たちがどこかの水を出しっぱなしにしてしまったのではないかと知らされました。けれども水が出しっぱなしにされていたのではなく、私たちの天井からも水が漏れていることに気付きました。

そこで私たちは上の階の住人のところに行き、呼び鈴を押しました。返答はありませんでした。けれども天井から水が漏れ続けているため、水の供給源に行くことにしました。上の階の住人の水の供給を外から止めました。すると水漏れはようやくおさまりました。

数時間後、私たちは上の階の住人を起こし、事態を説明することができました。どうやらその方のシャワーが夜通し流しっぱなしになっていたようです。当然ながら、水を止める方法は色々とあります。けれども最も効率が良い方法は、水の供給源に行くことです。

苦しみも同じです。ヤコブは、「全ての力の源である神―全てを支配しておられる方のもとに行くように」と言っています。もし私たちを本当に助けることができる存在がいるとしたら、それは神です。祈りによって神のもとに行ってください。

(2)喜んでいる？

興味深いことに、ヤコブは私たちが「喜んでいる」状況にあっても「同じことです。神のもとに行きなさい。」と言っています。神に賛美の歌を歌い、与えられている全ての祝福に対して神に感謝をするべきだと言っています：私たちが食べるものがあるとき、神を賛美するべきです。私たちが滞在できる場所があるとき、神を賛美するべきです。

学校に入学したとき、働く仕事があるとき、昇給したとき、神を賛美するべきです。
私たちの家族が元気で、子供が元気で、健康が良好ならば、神を賛美するべきです。
良い休日、良い買い物や映画、誰かと過ごす時間、一杯のおいしいコーヒーでさえも楽しんだのであれば、神を賛美するべきです。

何故でしょうか。これら全ては神からの祝福だからです！それに目を留めると、私がやることの全て、私が楽しむ小さなことの全て、例えば小さな植物、電話、靴は神からの祝福だとわかります。

けれども実際に私はどれくらいこれらのことについて神を賛美しているでしょうか？滅多にしない、のです。ヤコブは「それが問題だ。私たちはいつも神に賛美の歌を歌い、いつも神に感謝しているべきです。」と言います。

しかし私たちがそのようにするとき、いつも神に話しかけているようになります。問題に直面したとき、喜んでいるとき、祝福が与えられたときにいつも神に話しかけるなら、私たちは 2 歳児が母親に「ママ助けて」「ママありがとう」といつも話しかけているのと同じようになります。

ヤコブが私たちに伝えたいことはこれです。神は私たちにとってそのような存在です。そのように私たちは神と関わるべきです。そしてそのために私たちは唇を用いるべきです。

(3)病気はどうして？

さらに、14 節ではこう続きます「あなたがたの中に病気の人があれば、教会の長老たちを招き、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい。」

私たちはこの唇を、他者を祝福するため、他者のために祈るためにも用いるべきです。これは教会の「長老たち」－牧師やリーダーたちから始まります。私たちが重篤な病気のとき、教会の長老たちに祈ってもらい、主の名によってオリーブ油を塗ってもらうようにと書かれています。

「オリーブ油を塗る」ことは患者を神の特別な配慮のために選び分けることを象徴的に表しています。新約聖書の中で、癒やしのための祈りと「オリーブ油を塗る」ことが一緒に書かれている箇所は他にはないため、この慣習は任意のものだったと考えられています。「祈り」に重きが置かれているのです。

それを受けて 15 節はこう続きます。「信仰による祈りは、弱っている人を救い、主はその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯しているのであれば、主は赦してくださいます。」

これは新約聖書の中でも最も論争を招きやすい箇所の一つで、様々な質問を提起します。それらについていくつかお話していきましょう。

1.教会の長老たちによる「信仰による祈り」は、必ず「病気の人」を癒やすのか？

こう教える人がいます。「もし信仰が本物であるならば。」と。 ここで問われている信仰は「長老たち」の信仰であるべきですが、病気の人が癒やされなかったとき、その人自身が、信仰がないことを非難されることがあります。

病に冒され末期的な状態にあった男性の話を聞いたことがあります。教会は彼のために祈りました。しかし彼は癒やされませんでした。そのことにより、彼は信仰が足りないことを教会から非難されました。やがて、彼とその家族は教会を去りました。これがヤコブの教えていることでしょうか？―そうではありません！

実はパウロも主にある同胞たちの何人かを癒やすことはできませんでした。

パウロは、テモテへの手紙二 4:20 で、このように言っています。「トロフィモは病気だったので、ミレトスに残しました。」パウロは彼を癒せませんでした

またパウロは、フィリピの信徒への手紙2:25－26 で、このように言っています。「ところで私は、エパフロディトをそちらに送り返さねばならないと考えています。彼は、…自分の病気があなたがたに知られたことを心苦しく思っているからです。」パウロは彼を癒すことができなかったのです。

実際、教会の歴史をみると、敬虔な人たちの多くは何かしらの病気や怪我により亡くなっています。それはどのように説明できるでしょうか？ヤコブは、長老たちは「主の名によって」祈り、オリーブ油を塗るようにと言っています。それは「主の御心によって」という意味が含まれています。

「神の御心」は必ずしも「私たちの欲望(思い)」と同じとは限りません。それらが異なるとき、私たちが祈っても、完全な癒しをみることはできません。二つ目の質問に行きます。

2.「信仰による祈り」とは？私たちが祈り求めるものを神が与えてくださると信じること？

考えてみてください。イエスのゲツセマネでの祈りは「信仰による祈り」でしたか？イエスは「父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。(十字架に付けないでくださいという意味です)しかし、私の望むようにではなく、御心のままに。」(マタイ26:39)これは「信仰による祈り」か「信仰のない祈り」のどちらでしょうか。

これは究極的な「信仰による祈り」です。「信仰による祈り」とは、神が私たちの願う良いものを与えてくださることを信じながらも、それを超える神のご計画を成就させるために、時として神は私たちの願い求めるものを覆すことがあることを認めるものです。「信仰による祈り」は神に最大限の信仰を置いています。

3.癒やしが罪の赦しと関係しているのであれば、私たちの病は罪の結果によるものなのか？

聖書によれば、罪は人の病の直接的な原因にもなり得ますが、必ずしもそうとは限りません。
弟子たちが目の見えない人について質問したとき、イエスはこう答えました。「本人が罪を犯したから

でも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」（ヨハネ9:3）

このように罪とは何の関係もない病もあります。一方で、パウロはコリント人の罪によって、「あなたがたの間に、弱い者や病人が大勢おり、また死んだ者も少なくないのは、そのためです。」（コリントの信徒への手紙一 11:30）と言っています。つまり、「病」は「罪」の結果として起きる場合もそうでない場合もあるのです。それでも、私たちが罪を「告白」するのはどのような場合であっても良いことです。

(4)正しい人の執り成し

16－18 節ではこのように続けられています。「それゆえ、癒やされるように、互いに罪を告白し、互いのために祈りなさい。正しい人の執り成しは、大いに力があり、効果があります。エリヤは、私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ると、三年六か月にわたって地上に雨が降りませんでした。しかし、再び祈ると、天は雨を降らせ、大地は実りをもたらしました。」

「正しい人」とは自分の罪を謙遜な心で告白し、イエスにある神の赦しを受け入れた者―すなわち私たちクリスチャンのことを指しています。

私たちは他者を批判したり、自慢したり、不満を言ったり欺くために唇を用いるべきではありません。その代わりに私たちは自分の罪を告白するために唇を用いるべきです。他人がどれほど悪いかを言い表すのではなく、どれほど自分が悪いかを他者に言い表すべきです。そして互いに祈るために唇を用いるべきです。

ヤコブは、「正しい人の執り成しは、大いに力があり、効果があります。」と言っています。より直訳に近づけると:「正しい人の執り成しは生きて働いて多くを成し遂げる」となります。

ここで鍵となる概念は、正しい人の執り成しは生きて働いており、目的を果たすまで働いて、働いて、働き続けるということです。

私たちの息子が小学生だったとき、ある日釣りに行きたいと私に言いました。息子が私にその依頼をした瞬間から、ある思いが動き出しました。それは生きたものになり、私の内で働き始め、その後も働いて、働いて、働き続けました。

まず私は釣りに関しての書物を購入し始めました。釣りには何が必要か勉強しました。釣りができる場所を調べました。釣りに必要な道具を買い揃えました。そしてある日、私は子供たちを釣りに連れていきました。息子の依頼は、その目的を果たすまで私の中で働き続けました。

これはエリヤにも見られることです。彼は弱い人間で、誘惑、プライドや恐れの影響を受けやすい人物でしたが、神の前に謙遜な人でした。そのような彼が祈ったとき、それは非常に大きな力がありました。彼の祈りは生きたものになり、働き始めました。その祈りは目的を果たすまで働いて、働いて、働き続けました。

まず雨がやみました。そして 3 年 6 ヶ月後に再び降りました。全ては神の御心によるものでした。けれどもすべてはこの一人の人物の謙遜な祈りによって成され、達成されたのです。

ヤコブが言っているのはそういうことです。神の御心に沿っていれば、私たちが互いの癒しのために祈る時に、そのようになります。すなわち私たちの祈りが生きたものになり、働き始めます。そして目的を果たすために働いて、働いて、働き続けます。

神の民が祈るときに、人々が癒やされるのを何度も目撃するのはこのためです。私たちの祈りには力があるからです。祈りは生きていて、目的を果たすために働き続けます。

ヤコブは「クリスチャンは互いに祈りなさい。他人を批判したり、自慢したり、不満を言ったり、欺くために唇を用いてはいけません。他人がいかに悪いか、または自分はいかに良いかを言い表すために用いるのもやめましょう。」と言います。それよりも、自分の罪を告白するために自らの唇を使いましょう他者のために祈るために唇を用いてください

「正しい人の執り成しは、大いに力があり、効果があります。」

もしあなたがまだ、イエスを救い主として謙遜な心で受け入れておられないなら、今日がその日となりますように。 そうすれば、イエスがあなたの唇をも他者への祝福に用いてくださることでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0923jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2月26日（日）13:00～17:00
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月1～土曜日16時にTBCにて作業します。Macでプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日19時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBCの教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org